



麻生のまちをやまゆりでいっぱい！



～第2回 ヤマユリ栽培講習会開催～



去る4月13日(日)麻生区役所において、ヤマユリ植栽普及小委員会の主催で「ヤマユリの種による栽培法の実技講習会」を開きました。

当講習会は、ヤマユリを“里山から庭先へ”をキャッチフレーズに推進する植栽普及活動の一環として実施したものです。

当日は、あいにくの小雨模様でしたが、岡上、麻生、白山、高石、王禅寺、百合丘、片平、黒川などの各地域から定員を大幅に超える40数名の参加者。会場には、ヤマユリに寄せる情熱と歓談の声が飛び交い、大いに心の絆を深めて頂いたことでしょう。「ヤマユリのデリケートさがよくわかった」「子育ての気持ちで育てようと思った」「委員会に参加して一緒に勉強したい」「2・3年目の実物の鉢も観察でき実感が湧いた」など、様々な感動の声を頂きました。



発根したヤマユリの種を一鉢ずつ袋詰め準備作業



実習風景：1人一鉢、用土づくりから種まきまで体験

ヤマユリをあなたの地域にも復活させませんか。

かつて、この麻生の地に咲き乱れていたヤマユリ。我が区内にも、緑地や里山の保全に関わるボランティア組織は30団体を超え、頼もしい限りです。区役所の門の側に建つ母子像が持つ一輪のヤマユリの花。そしてヤマユリが県花となった背景を学ぶといっそう愛着が湧きます。共にヤマユリを復活させませんか。

市民活動支援部会



3月・4月は今年度の活動の振り返りと来年度企画の確認をしました。その上で最終年度に向けて、部会の目標と役割を部会メンバーが共有しながら、自由な意見交換を行い、成果に向けて協力しましょうという部会長からのアピールがありました。

今年度は、市民の会、とくに市民活動支援部会とあさお市民活動サポートセンターとの関係性が大きなテーマになりました。活動を進める中で双方の話し合いの場が持たれ、合意点を見出すことができたことは大きな前進であり、成果といえましょう。双方がそれぞれの特色を活かしあいながら“市民活動支援”という重要な活動を推進していけるよう最終年度を迎えます。

市民活動支援相談窓口小委員会

「市民活動団体及び活動の場の調査」の成果をサポートセンターに移管したのち、「市民活動で求められる人材の発掘・調査」に着手しています。様々な技能を持つ市民が地域で活躍できるための基礎データづくりは必要であり、各方面から求められています。その作業は個人情報保護上の問題をクリアしつつ、個別交渉など時間を要する地道な活動を続けています。最終年度はぜひその成果を出せるよう一層の活動を推進していかなければならないと思っています。



講座企画運営小委員会

今年度は、地域デビューしようという人と人材確保を大きな課題として抱えている活動団体との『幸せな出会いの場』を企画しました。3回シリーズで開催しましたが、毎回地域デビューしたい方が多く参加されました。

また、参加団体の参加スタイルも多様になり、実演で活動ぶりを披露してくださる団体もあってイベント的な楽しい要素が増えました。

平成19年度講座「地域デビューへの招待状」
3回シリーズ 述べ参加者総数：114名
延べ参加団体：85

第1回『地域デビューしてみよう!』

5月12日 参加者：32名 参加団体：28

第2回『地域デビューできましたか?』

7月21日 参加者：44名 参加団体：26

第3回『地域デビューしてみよう』

10月20日 参加者：38名 参加団体：31

まちづくり推進部会



19年度は昨年からの継続テーマ4件。

麻生まちづくり学校 地域まちづくり支援 あさお落書き消し隊 地域通貨の導入に加えて
里山から庭先へ、ヤマユリ植栽の普及・促進の5つのテーマでの活動が行われました。
それぞれのテーマは麻生まちづくりの一部ではありますが有意義な活動展開になっています

麻生まちづくり学校運営小委員会

協働と参画のまちづくりを進めるための知識の取得、講座を通じた地域のまちづくり人材の育成のために、「まちづくり講座」を企画・実施しました。

< 19 年度のテーマ >

災害の事前の備え

災害が起こったときの対処法

災害後の生活やライフライン

地域課題を解決する手法のひとつである『防災』をテーマにしました。

地域まちづくり支援小委員会

本会は地域コミュニティ活動増強を市民に応援する活動です。まちづくり学校の「安全・安心なまちづくり」のテーマ『防災』を中心に、住民が自主的に行動を起こせるような支援を町内会・自治会等と連携して行なっています。

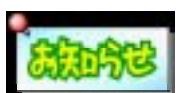
本会で選定したモデル地区の「防災に対する要領」を各地区に適合した「防災構造」に発展させ、住民レベルの防災意識を高め、延いては、区全体での防災活動の充実につなげるための活動を進めました。具体的には特定の町会とも活動推進を計画できました。

落書き消し小委員会

弥生 3 月とはいえまだ寒さの残る中、2 度の「出前落書き消し」を行いました。

3/4（火）王禅寺西 5 丁目の電柱、掲示板、車庫の鏡戸などを、落書き消し隊 2 名、地元のコスモスの会 10 名で溶剤を使用して、およそ 1 時間ほどで落書きを消しました。

3/9（日）ヨネッティ向のコンクリート壁面に大きく書かれたオバケ?の落書きをサンドペーパーで削りながら、グレーの水性ペンキで塗り消しました。この作業には宮前区の「落書きケスンジャー」14 名、王禅寺処理センターから 9 名、「落書き消し隊」2 名、総勢 25 名が参加して、約 1 時間半程で見違えるほどきれいになりました



地域通貨小委員会

地域通貨小委員会は 3 月 19 日の小委員会をもって活動を中止いたしました。

参加した方々の殆どが、地域通貨の何たるかも知らなかったが、専門家や先人に各地の地域通貨の現状を学べた事は大きな収穫であったと委員長は語っていました。

平成 20 年度会員募集説明会開催

3 月 18 日（火）18 時 30 分から、会員希望者のための説明会を開催しました。会員も参加した今年度は映像で設立趣旨や会の活動が説明され、よりわかりやすくなりました。

この説明会の参加者の内、2 名の方が新たに入会しました。最終年度活動の成果を出すために協力していきましょう。

～麻生外国人医療情報ヘルプライン～

麻生区近隣の外国人に、医療機関、健康保険、公的な健康診断や予防注射の情報を、英語、中国語、スペイン語で無料提供します。

(相談専用電話044-951-6468)

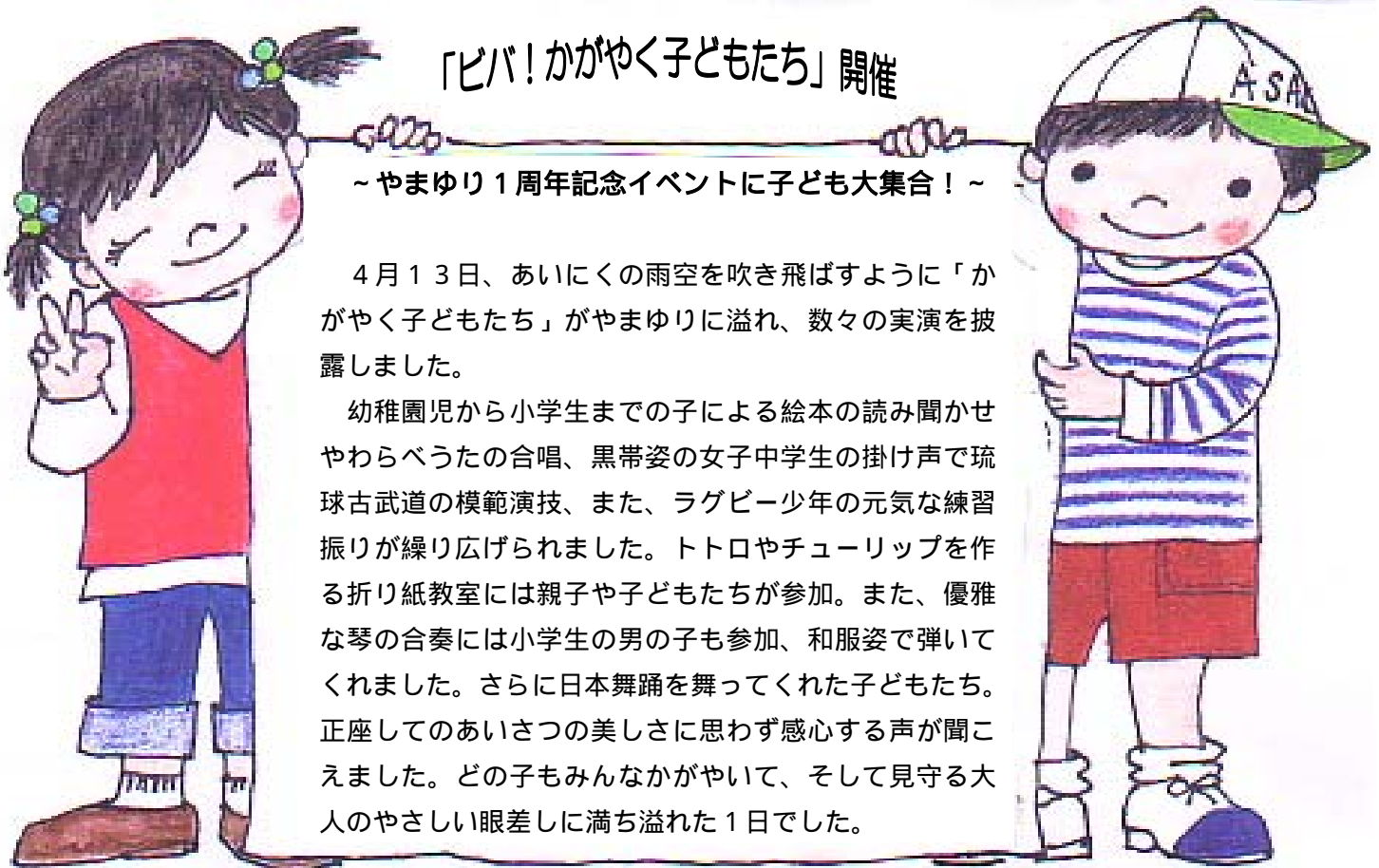
平成20年2月25日に開設、毎週月曜、金曜の午前10時から午後3時まで相談に応じています。お知り合いの外国人にこの電話番号をご紹介ください。各国語を話す相談員は現在29名、うち3名が外国人です。将来的には相談言語を増やすことも考えています。現在、スペイン語と中国語の相談員を追加募集中です。麻生外国人医療情報ヘルプラインについてのお問い合わせは、区役所地域振興課044-965-5116まで。

◆ 地域づくりに区民の関心集まる

～区民会議主催「区民フォーラム」大盛況～

2月23日に麻生区区民会議の主催で開催された『区民フォーラム』には、150人の区民が参加。地域づくりの実践例として、虹ヶ丘コミュニティルーム、多摩美町会、新ゆりグリータウン連絡協議会から報告がありました。

参加者との意見交換の時間では、事例報告団体へ活発な質問や感想がでました。また、自分たちもこんな取り組みをしているという報告も会場からいくつも発表されるなど、「地域の課題は地域で解決」という合い言葉が区民や地域団体に定着しつつあることを実感した一日になりました。



「ピバ!かがやく子どもたち」開催

～やまゆり1周年記念イベントに子ども大集合!～

4月13日、あいにくの雨空を吹き飛ばすように「かがやく子どもたち」がやまゆりに溢れ、数々の実演を披露しました。

幼稚園児から小学生までの子による絵本の読み聞かせやわらべうたの合唱、黒帯姿の女子中学生の掛け声で琉球古武道の模範演技、また、ラグビー少年の元気な練習振りが繰り広げられました。トトロやチューリップを作る折り紙教室には親子や子どもたちが参加。また、優雅な琴の合奏には小学生の男の子も参加、和服姿で弾いてくれました。さらに日本舞踊を舞ってくれた子どもたち。正座してのあいさつの美しさに思わず感心する声が聞こえました。どの子どもみんなかがやいて、そして見守る大人のやさしい眼差しに満ち溢れた1日でした。

今後の予定(どなたでも傍聴できます。)

運営委員会:未定

市民種皮撥除:5月7日(水)18:30より

まちづくり推進除:5月15日(木)18:30より

編集後記 「からごるも きつつなれにし つましかれば はるばるきぬる たびをしぞおもふ」

在原業平に歌を詠ませたのは、山道に凜として立つあやめではなく、水辺に咲く杜若の楚々とした優しさでした。力強さより、時には優しさから良いものが生まれるものです。

第2期の最終年度。各小委員会は3期目につながる成果をめざしますが、結果を出す過程で優しさを置き忘れることなく、大切にそして楽しく活動したいものです。(R.T.)